

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 23 日	
宮崎県知事	殿
提出者	
住 所	宮崎県日向市大字財光寺1193番地
氏 名	南日本ハム株式会社 代表取締役 直井 剛
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0982-54-4186	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	南日本ハム株式会社
事業場の所在地	宮崎県日向市大字財光寺1193番地
計画期間	1年間(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E 製造業 09 食料品製造業
②事業の規模	別紙①のとおり
③従業員数	別紙①のとおり
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙②-1～4のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙③のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類と動植物性残さの分別
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

	②計画	
--	-----	--

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙⑤のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】 別紙⑤のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙⑥のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】 別紙⑥のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

--	--	--

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙⑦のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙⑦のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 7 年度）実績】 別紙⑧のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

--	--	--

(第5面)

②計画	【目標】 別紙⑧のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

② 事業の規模

別紙 ①

1、会社名

南日本ハム株式会社 日向農産加工株式会社

2、資本金

南日本ハム株式会社 3億6千万円

日向農産加工株式会社 3千万円

3、製造概要

南日本ハム(株)は全国に展開する日本ハム(株)グループ会社の1つとして日向市にある本社工場を拠点に、豚の仕入れからと蓄、処理、製造、加工の一貫体制を確立して、主製品となるハム・ソーセージ類、豚規格肉、冷凍加工食品、調味料等の製造を行っている。
また、同一敷地内にある、南日本ハム100%出資会社である日向農産加工(株)において、ペットフードの生産、原皮加工の製造を行っている。

4、各工場における生産量

南日本ハム株式会社（令和7年度実績）

項 目	工 場 名	生 産 量(t)
ハム・ソーセージ類	製造工場	2,869
豚規格肉	食肉工場	14,715
冷凍加工食品	惣菜工場	935
エキス調味料	エキス調味料工場	4,155

日向農産加工株式会社（令和7年度実績）

項 目	工 場 名	生 産 量(t)
ドライフード	DF工場	310
原皮加工品	原皮工場	1,657

製造品出荷額（令和7年度）

南日本ハム株式会社 22, 676t

日向農産加工株式会社 1,970t

③ 従業員数（令和7年3月現在）

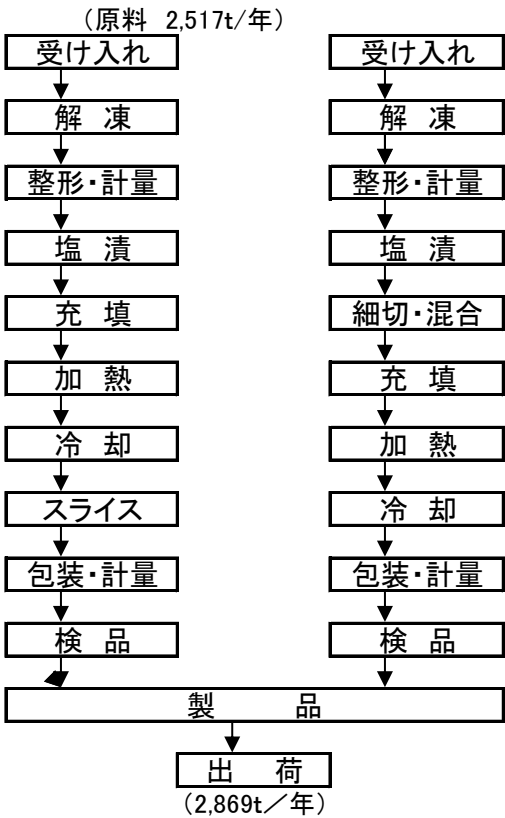
南日本ハム株式会社 441名

日向農産加工株式会社 48名

別紙②ー1

④産業廃棄物の一連の処理の工程

図1 ハム・ソーセージ製造フローシート
(製造工場)



発生する廃棄物

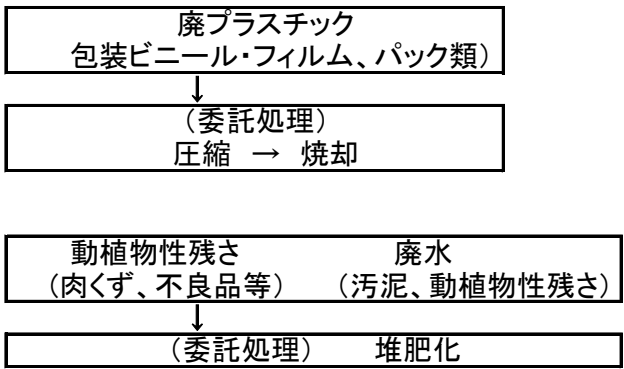
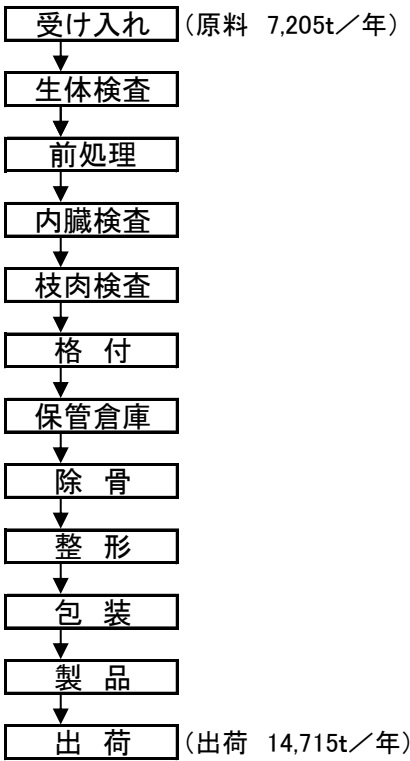
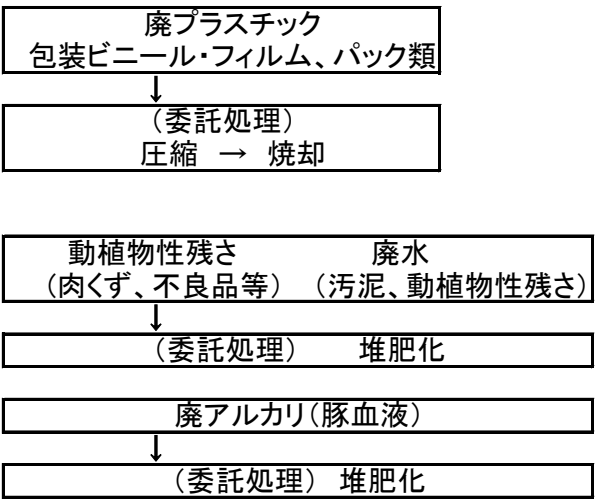


図2 豚規格肉製造フローシート
(食肉工場)

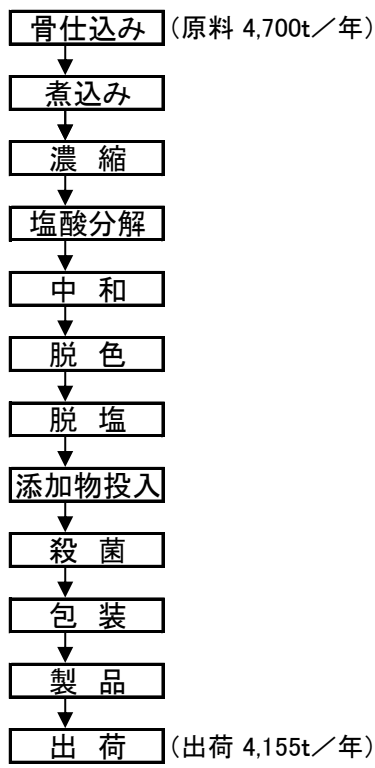


発生する廃棄物



別紙②－2

図3 エキス調味料工程フローシート
(エキス調味料工場)



発生する廃棄物

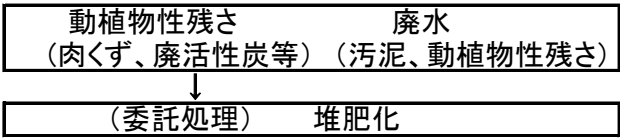
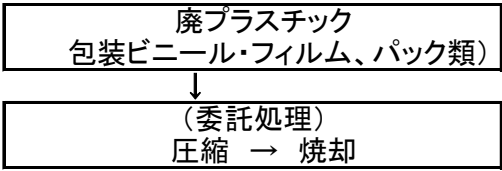
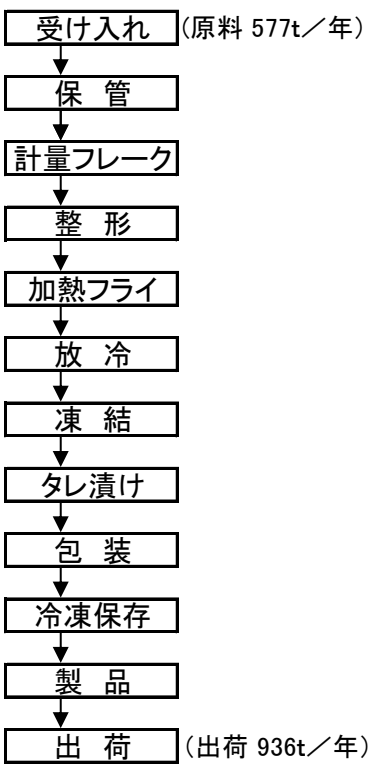
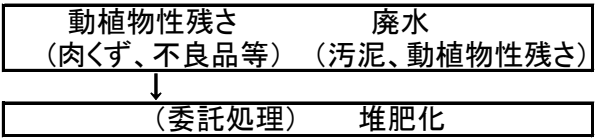
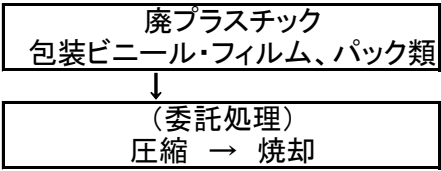


図4 惣菜工場フローシート
(惣菜工場)



発生する廃棄物



別紙②－3

図5 原皮工程フローシート
(原皮工場)

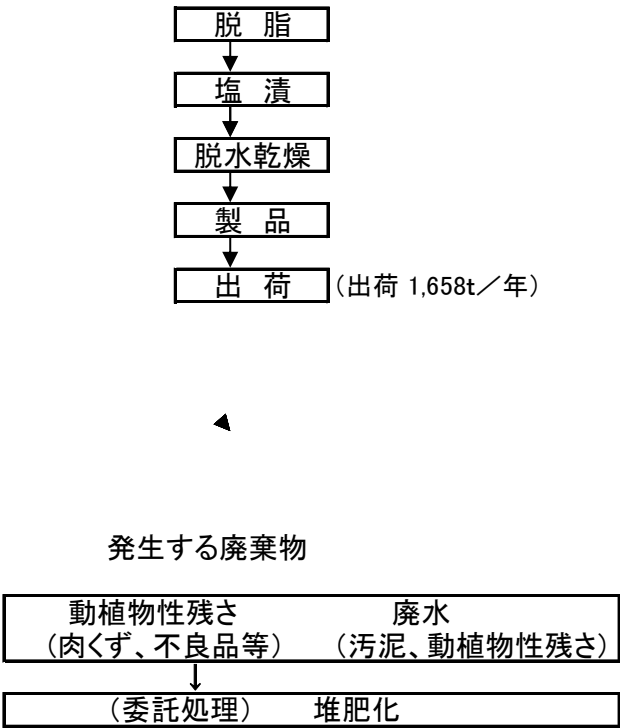


図6 ドライフード製造フローシート
(DF工場)

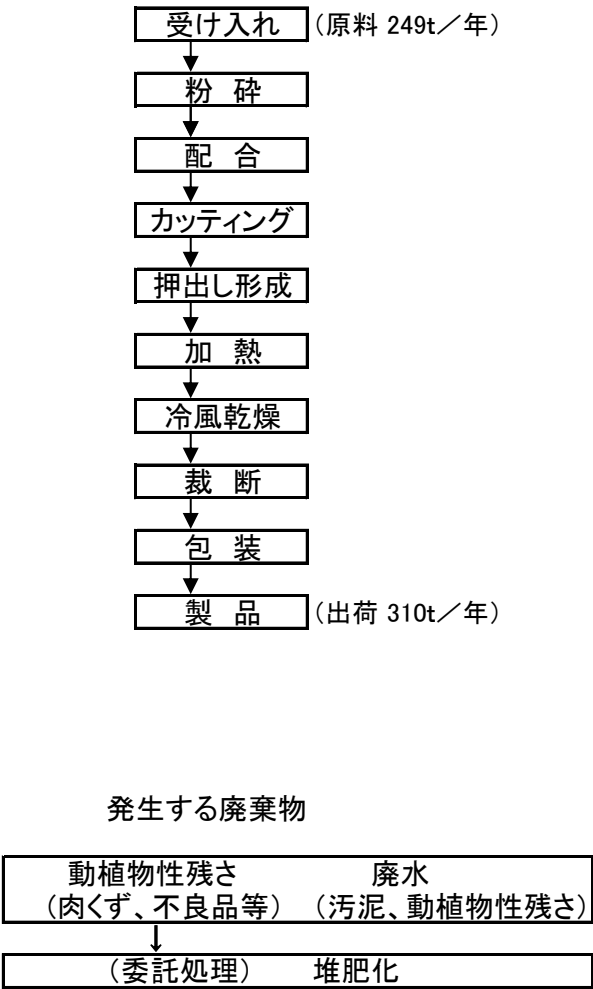
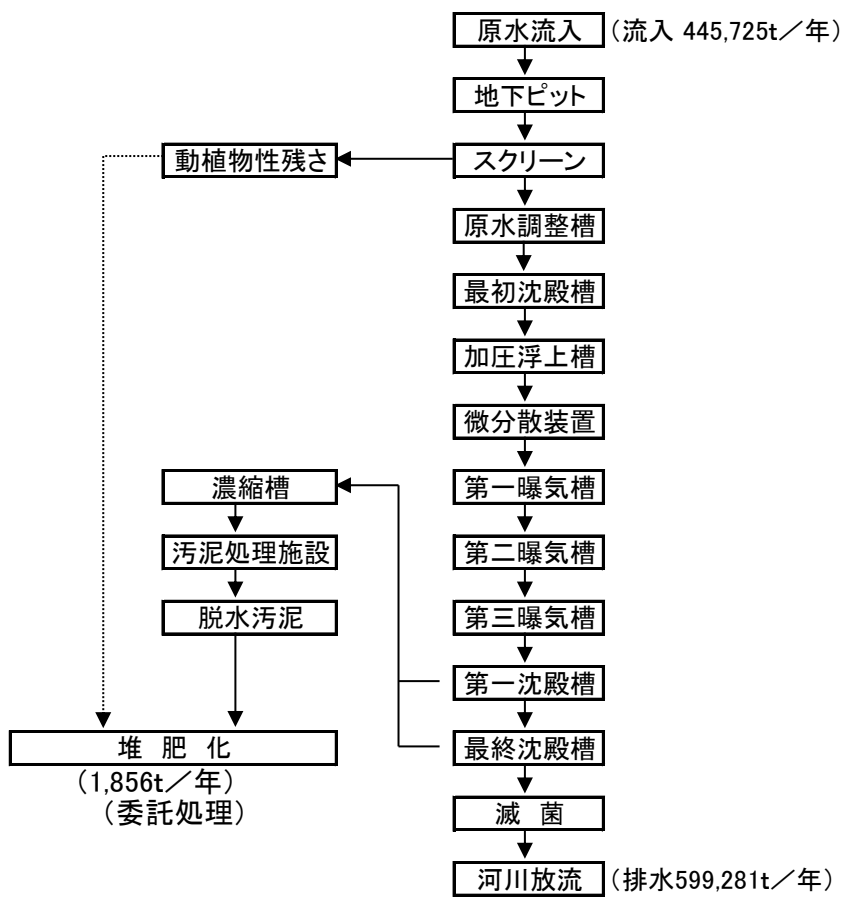


図7 排水処理フローシート
(排水処理設備)



4.産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び組織図

統括責任者		施設環境室 室長 矢野 英司
廃棄物担当		組織名 : 施設環境室 設備管理課 氏名 : 環境保全課 係長 新名 誠 産業廃棄物技術管理者 2名 特別管理産業廃棄物責任者 2名 組織人数 : 8名
役割	産業廃棄物処理統括責任者	・ 廃棄物処理及び処理委託方針の決定 ・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認、報告 ・ 廃棄物管理規定の策定・改廃
	廃棄物管理担当	・ 廃棄物処理計画の策定 ・ 廃棄物管理状況の把握及び改善策対応の検討 ・ 廃棄物処理業者、再生利用者の把握及び管理 ・ 廃棄物委託契約の締結 ・ 廃棄物管理票の交付及び管理状況の把握 ・ 監督官庁への各種報告 ・ 社員、関連会社に対する教育、連絡指示 ・ その他関係する事項

(2) 管理体制

当事業所内の産業廃棄物の管理は施設環境室が中心となり、運用していくために各工場内における関係部署と協力し、廃棄物管理業務の適正維持に努めている。環境ISO14001の環境管理マニュアルにおける廃棄物処理実施基準、省資源・リサイクル基準、廃棄物処理作業共通手順等の基準を遵守し、効果的な管理運用を促進する。

(3) 教育・研修

社内における産業廃棄物の種類、分別、発生状況、排出方法、処理方法保管に関する留意事項を整理し、従業員等に随時、通達や教育を行う。また、環境ISO14001の環境マニュアルにおける環境教育実施基準では環境管理の効果的運営を図るために、全構成委員の教育および啓蒙活動について定めており、一般教育・専門教育・監査人教育等を通じて、十分な環境情報伝達が周知徹底されている。

産業廃棄物の排出抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の名称	① 現 状		② 計 画	
		令和7年度 排出量実績 (t)	これまでに実施した取組	令和8年度 排出量計画 (t)	今後実施する予定の取組
汚 泥	脱水汚泥	1,883.03	汚泥脱水機、汚泥配合変更等 低含水率運転を推進した。	1,800.00	低含水率運転の継続
	小計	1,883.03		1,800.00	
動植物性残さ	排水残さ	466.68	不良品の削減、 格落品の再利用	460.00	
	廃棄製品類	142.28		125.00	
	煮骨	1,846.96		1,800.00	
	活性炭	297.49		300.00	
	小計	2,753.41		2,685.00	
廃 油	鉋物油	2.23		2.00	
	試験検査用油	0.02		0.02	
	小計	2.25		2.02	
廃 酸	試験検査用廃酸	0.52		0.60	
	小計	0.52		0.60	
廃プラスチック類	ビニール類	5.98	廃プラスチック洗浄、乾燥による再資源化。乾燥機による含水率低減	6.00	
	廃材類	174.57		170.00	
	小計	180.55		176.00	
木 く ず	パレット類	1.18		2.00	
	スモークチップ	7.65		7.00	
	小計	8.83		9.00	
廃アルカリ	豚血液	0.00		0.00	
	小計	0.00		0.00	
ガラスくず	蛍光灯類	0.23		0.30	
	小計	0.23		0.30	
合計		4,828.82		4,672.92	

別紙 ⑤

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の名称	① 現 状			② 計 画		
		令和7年度 排出量実績 (t)	自ら再生利 用を行った産 業廃棄物の 量(t)	これまでに実施した 取組	令和8年度 排出量計画 (t)	自ら再生利 用を行う産業 廃棄物の量 (t)	今後実施する予定の 取組
汚 泥	脱水汚泥	1,883.03	0.00		1,800.00	0.00	
	小計	1,883.03	0.00		1,800.00	0.00	
動植物性残さ	排水残さ	466.68	0.00		460.00	0.00	
	廃棄製品類	142.28	0.00		125.00	0.00	
	煮骨	1,846.96	0.00		1,800.00	0.00	
	活性炭	297.49	0.00		300.00	0.00	
	小計	2,753.41	0.00		2,685.00	0.00	
廃 油	鉱物油	2.23	0.00		2.00	0.00	
	試験検査用油	0.02	0.00		0.02	0.00	
	小計	2.25	0.00		2.02	0.00	
廃 酸	試験検査用廃酸	0.52	0.00		0.60	0.00	
	小計	0.52	0.00		0.60	0.00	
廃プラスチック類	ビニール類	5.98	0.00		6.00	0.00	
	廃材類	174.57	0.00		170.00	0.00	
	小計	180.55	0.00		176.00	0.00	
木 く ず	パレット類	1.18	0.00		2.00	0.00	
	スモークチップ	7.65			7.00	0.00	
	小計	8.83	0.00		9.00	0.00	
廃アルカリ	豚血液	0.00	0.00		0.00	0.00	
	小計	0.00	0.00		0.00	0.00	
ガラスくず	蛍光灯類	0.23	0.00		0.30	0.00	
	小計	0.23	0.00		0.30	0.00	
合計		4,828.82	0.00		4,672.92	0.00	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の名称	① 現 状				② 計 画			
		令和7年度 排出量実績 (t)	自らを熱回 収を行った産 業廃棄物の 量(t)	自ら中間処 理により減 量した産業 廃棄物の量 (t)	これまでに 実施した取 組	令和8年度 排出量計画 (t)	自らを熱回 収を行う産業 廃棄物の量(t)	自ら中間処 理により減 量する産業 廃棄物の量 (t)	今後実施 する予定 の取組
汚 泥	脱水汚泥	1,883.03	0.00	0.00		1,800.00	0.00	0.00	
	小計	1,883.03	0.00	0.00		1,800.00	0.00	0.00	
動植物性残さ	排水残さ	466.68	0.00	0.00		460.00	0.00	0.00	
	廃棄製品類	142.28	0.00	0.00		125.00	0.00	0.00	
	煮骨	1,846.96	0.00	0.00		1,800.00	0.00	0.00	
	活性炭	297.49	0.00	0.00		300.00	0.00	0.00	
	小計	2,753.41	0.00	0.00		2,685.00	0.00	0.00	
廃 油	鉱物油	2.23	0.00	0.00		2.00	0.00	0.00	
	試験検査用油	0.02	0.00	0.00		0.02	0.00	0.00	
	小計	2.25	0.00	0.00		2.02	0.00	0.00	
廃 酸	試験検査用廃酸	0.52	0.00	0.00		0.60	0.00	0.00	
	小計	0.52	0.00	0.00		0.60	0.00	0.00	
廃プラスチック類	ビニール類	5.98	0.00	0.00		6.00	0.00	0.00	
	廃材類	174.57	0.00	0.00		170.00	0.00	0.00	
	小計	180.55	0.00	0.00		176.00	0.00	0.00	
木 く ず	パレット類	1.18	0.00	0.00		2.00	0.00	0.00	
	スモークチップ	7.65	0.00	0.00		7.00	0.00	0.00	
	小計	8.83	0.00	0.00		9.00	0.00	0.00	
廃アルカリ	豚血液	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	
	小計	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	
ガラスくず	蛍光灯類	0.23	0.00	0.00		0.30	0.00	0.00	
	小計	0.23	0.00	0.00		0.30	0.00	0.00	
合計		4,828.82	0.00	0.00		4,672.92	0.00	0.00	

別紙 ⑦

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の名称	① 現 状			② 計 画		
		令和7年度 排出量実績 (t)	自ら埋立処分 又は海洋投入 処分を行った 産業廃棄物の 量(t)	これまでに実施した 取組	令和8年度 排出量計画 (t)	自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行う産業廃棄 物の量(t)	今後実施する予定の 取組
汚 泥	脱水汚泥	1,883.03	0.00		1,800.00	0.00	
	小計	1,883.03	0.00		1,800.00	0.00	
動植物性残さ	排水残さ	466.68	0.00		460.00	0.00	
	廃棄製品類	142.28	0.00		125.00	0.00	
	煮骨	1,846.96	0.00		1,800.00	0.00	
	活性炭	297.49	0.00		300.00	0.00	
	小計	2,753.41	0.00		2,685.00	0.00	
廃 油	鉱物油	2.23	0.00		2.00	0.00	
	試験検査用油	0.02	0.00		0.02	0.00	
	小計	2.25	0.00		2.02	0.00	
廃 酸	試験検査用廃酸	0.52	0.00		0.60	0.00	
	小計	0.52	0.00		0.60	0.00	
廃プラスチック類	ビニール類	5.98	0.00		6.00	0.00	
	廃材類	174.57	0.00		170.00	0.00	
	小計	180.55	0.00		176.00	0.00	
木 く ず	パレット類	1.18	0.00		2.00	0.00	
	スモークチップ	7.65	0.00		7.00	0.00	
	小計	8.83	0.00		9.00	0.00	
廃アルカリ	豚血液	0.00	0.00		0.00	0.00	
	小計	0.00	0.00		0.00	0.00	
ガラスくず	蛍光灯類	0.23	0.00		0.30	0.00	
	小計	0.23	0.00		0.30	0.00	
合計		4,828.82	0.00		4,672.92	0.00	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙 ⑧

		令和7年度 排出量	① 現 状						② 計 画					
			全処理委 託量(t)	優良認定 処理業者 への処理 委託量(t)	再生利用 業者への 処理委託 量(t)	認定熱回 収業者へ の処理委 託量(t)	認定熱回 収業者以 外の熱回 収を行う業 者への処 理委託量 (t)	これまでに 実施した取 組	全処理委 託量(t)	優良認定 処理業者 への処理 委託量(t)	再生利用 業者への 処理委託 量(t)	認定熱回 収業者へ の処理委 託量(t)	認定熱回 収業者以 外の熱回 収を行う業 者への処 理委託量 (t)	今後実施 する予定 の取組
汚 泥	脱水汚泥	1,883.03	1,883.03	0.00	1,883.03	0.00	0.00		1,800.00	0.00	1,800.00	0.00	0.00	
	小計	1,883.03	1,883.03	0.00	1,883.03	0.00	0.00		1,800.00	0.00	1,800.00	0.00	0.00	
動植物性残さ	排水残さ	466.68	466.68	0.00	466.68	0.00	0.00		460.00	0.00	460.00	0.00	0.00	
	廃棄製品類	142.28	142.28	0.00	137.77	0.00	0.00		125.00	0.00	120.00	0.00	0.00	
	煮骨	1,846.96	1,846.96	0.00	1,776.88	0.00	0.00		1,800.00	0.00	1,800.00	0.00	0.00	
	活性炭	297.49	297.49	0.00	297.49	0.00	0.00		300.00	0.00	300.00	0.00	0.00	
	小計	2,753.41	2,753.41	0.00	2,678.82	0.00	0.00		2,685.00	0.00	2,680.00	0.00	0.00	
廃 油	鉱物油	2.23	2.23	0.00	2.23	0.00	0.00		2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	
	試験検査用油	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00		0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	小計	2.25	2.25	0.02	2.23	0.00	0.00		2.02	0.02	2.00	0.00	0.00	
廃 酸	試験検査用廃酸	0.52	0.52	0.52	0.00	0.00	0.00		0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	
	小計	0.52	0.52	0.52	0.00	0.00	0.00		0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	
廃プラスチック 類	ビニール類	5.98	5.98	0.00	5.98	0.00	0.00		6.00	0.00	6.00	0.00	0.00	
	廃材類	174.57	174.57	0.00	0.00	0.00	0.00		170.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	小計	180.55	180.55	0.00	5.98	0.00	0.00		176.00	0.00	6.00	0.00	0.00	
木 く ず	パレット類	1.18	1.18	0.00	1.18	0.00	0.00		2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	
	スモークチップ	7.65	7.65	0.00	7.65	0.00	0.00		7.00	0.00	7.00	0.00	0.00	
	小計	8.83	8.83	0.00	8.83	0.00	0.00		9.00	0.00	9.00	0.00	0.00	
廃アルカリ	豚血液	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	小計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ガラスくず	蛍光灯類	0.23	0.28	0.00	0.28	0.00	0.00		0.30	0.00	0.30	0.00	0.00	
	小計	0.23	0.23	0.00	0.23	0.00	0.00		0.30	0.00	0.30	0.00	0.00	
合計		4,828.82	4,828.82	0.54	4,579.12	0.00	0.00		4,672.92	0.62	4,497.30	0.00	0.00	